

■ 生徒からのメッセージ

・支援者へのメッセージ、高校生活や受験の感想、今後の抱負などを自筆で自由に書いてください。

私は2011年の東日本大震災で家は半壊となり、父は身体的影響により退職したため、家庭には金銭的余裕がありませんでした。そのため大学受験、入学のために両親に大きな負担をかけることになってしまい申し訳なく思っていました。

しかし、今回の「テラー・マナーソン基金」“Hope for Tomorrow”のみなさんのおかげで、受験にかかってしまったお金の負担を軽減することができました。私は東京の下学で4年間頑張り、その後宮城に戻り、故郷である宮城、石巻と、そこに住む人々の役に立つ仕事に就きたいと思っております。

今回はこの支援本当にありがとうございました。

このたびは進学支援をありがとうございます。私の家は震災の影響もあり、家計が苦しい状態でした。私は進学を希望していましたが、受験料が高く、親の負担を心配していました。ですが今回、NPO法人からの進学支援について伺い、親の負担が軽くなればと思い応募しました。私の家にとってはとても助かります。本当にありがとうございます。

私は食事から人々の健康を支える栄養士になりたいです。十分な栄養を摂らないと健康を害することも知り、食事はとても大切という事に気がかされました。また、医療の分野に興味があったので、人々の健康に携わる栄養士になりたいと思っております。

私はこれから短期大学に進学し、栄養士の資格を取得しようと思っています。勉強だけでなく、人としての教養を身につけていきたいです。食事の楽しさを伝え、人々も笑顔にできるような栄養士になって、社会貢献していきたいです。私の夢の実現のために進学支援をしていただきありがとうございます。

今回大学受験にあたって、テイラーさんをはじめとする
たくさんのおみなさんの暖かいご支援のおかげで
遠方でしたが、無事受験することができました。

これから先も、たくさんの方の困難が待っているとは思いますが、
このご支援を忘れず、自分の道を突き進もうと思います。
本当にありがとうございました。

この度は支援していただきありがとうございました。

受験は体力的、精神的に大変でしたが、
支えてくれた家族、友人、支援して下さった方々
のおかげで頑張ることができました。

これからは、支援していただいた分、他の人を支え
られるように生活していきたいです。
本当にありがとうございました。

テイラー・フンダーソンさんとNPOのおかげで、親への金銭的な負担を
気にすることなく、前期と後期の二つの試験のチャンスにいた
くことができました。

このことによって、心に余裕が生まれ、安心して受験に臨む
ことができました。

本当にありがとうございました。

薬剤師国家試験を合格するために、大学できちんと勉強に
励みたいと思います。

進学のご支援ありがとうございます。

高校生活は3年間があっという間に感じられたほど充実していました。

苦手科目の時間も、周りの友人たちの励ましで乗り越えることができました。

高校生活の思い出と友人たちも、これからも大切にしていきたいです。

私は文化学園大学の服装学部への進学が決まり、春から東京で一人暮らしをします。

自分が最も興味を持ったファッションについて最先端の東京で学ぶことができるという

すばらしい環境に感謝し、頑張っていきたいです。

今回は経済的支援をしていただき、本当にありがとうございました。
この支援を無駄にしないよう、

これからも勉学に取り組んでいきたいと思っております。

これからも温かい応援よろしくお願ひします。